

授業科目名	飼養管理学		科目コード	2303001	
開講クラス	動物健康管理学科	コース	動物園・水族館・ドッグインストラクターコース	学年	1年
担当教員	下園武志				
	実務経験教員（有・ <input type="checkbox"/> 無） 実務経験内容				
開講時期	前期・後期・ <input type="checkbox"/> 通年・特別講義・その他		授業コマ数	31時間	
	<input type="checkbox"/> 必須・選択・選択必須		単位数	1単位	
使用テキスト1	書名	コンパニオン・アニマルの新・健康管理学			
	著者	浅野妃美・浅野隆司			
	出版社	株式会社 EDUWARD Press			
使用テキスト2	書名	室内犬の飼い方・しつけ・お手入れのすべて			
	著者	矢崎潤			
	出版社	ナツメ社			
使用テキスト3	書名				
	著者				
	出版社				
参考図書					
授業形態	<input type="checkbox"/> 講義・ <input type="checkbox"/> 演習・ <input type="checkbox"/> 実習				
<p>&lt;授業の目的・目標&gt;</p> <p>学校で飼育している動物のうち、犬と猫の取り扱いや日常的な管理をまずは座学を通し学ぶ。</p> <p>本科目で知識を得て、「動物飼育実習Ⅰ」で実際に体験することにより、最終的に飼い主に正しいアドバイスができるようになることを目標とする。</p>					
<p>&lt;授業の概要・授業方針&gt;</p> <p>本科目で得た知識を「動物飼育実習Ⅰ」で実践するとともに、「動物飼育実習Ⅰ」で得た経験を本科目で確認する。また、「動物飼育実習Ⅰ」で行ったPALファミリーのお世話の振り返りも行う。</p>					
<p>&lt;成績基準・評価基準&gt;</p> <p>前期と後期に優・良・可・不可の成績基準を設定する。評価の基準は筆記試験によるものとし、本科目の出席率が80%以上なければ本試験が受験できない。本試験における点数が 80～100点を優、70～79点を良、60～69点を可とし、60点未満は追試とする。また、出席率が80%未満の場合も追試となり、追試においては60～100点を可とする。追試にて60点未満の場合は不可となる。</p>					
<p>&lt;使用問題集・注意事項&gt;</p>					
<p>&lt;関連科目他&gt;</p> <p>動物飼育実習Ⅰ</p>					

授業科目名		飼養管理学
回	授 業 内 容	備 考
1	科目主旨・目標説明	
2	PALファミリーの紹介	
3	動物飼育実習について	
4	PALファミリーのお世話（動物飼育実習Ⅰ）の方法	
5	PALファミリーのお世話（動物飼育実習Ⅰ）の方法	
6	狂犬病について	
7	犬の登録と狂犬病予防接種	
8	犬・猫に対する混合ワクチン	
9	犬・猫の健康管理	
10	犬・猫の避妊と去勢	
11	犬・猫の避妊と去勢	
12	犬・猫のノミ・ダニ予防	
13	犬のフィラリア症予防	
14	PALファミリーのお世話（動物飼育実習Ⅰ）の振り返り	
15	PALファミリーのお世話（動物飼育実習Ⅰ）の振り返り	
16	動物と暮らすということ	
17	犬・猫の欲求を理解する	
18	犬・猫とのコミュニケーションのとり方	
19	犬・猫の気持ちとボディランゲージ	
20	犬・猫と良い関係を築く	
21	子犬・子猫を探す	
22	子犬・子猫の性格の見分け方	
23	子犬・子猫を迎える準備	
24	老犬の飼養管理	
25	老犬の飼養管理	
26	環境エンリッチメントについて	
27	PALファミリーの環境エンリッチメントについて	
28	PALファミリーの環境エンリッチメントについて	
29	PALファミリーのお世話（動物飼育実習Ⅰ）の振り返り	
30	PALファミリーのお世話（動物飼育実習Ⅰ）の振り返り	
31	後期まとめ	